

The service club to the YMCA



THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2026年7月会報 第451号

宝塚ワイズメンズクラブ

〒662-0977

西宮市神楽町 5-23

西宮 YMCA 内

Tel (0798)35-5987

六甲部 HP

QRコード



主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Johan Vilhelm Eltvik8 (Norway)

主 題 「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」

“Waking the Sleeping Giant with Blue Music”

標 語「YMI-人生を力づける」「YMI -Empowering Life”

アジア太平洋地域会長(AP)Rachan Maneekarn (Thailand)

主 題 「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」

Awakening the Asia Pacific with Blue Music

標 語 地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」

“Empowering communities, Inspiring Generations”

西日本区理事(RD) 岡村遍導 (滋賀蒲生野)

主 題 「変わり続けようワイズメン！ 私たちが見たい西日本区に！」

Let's keep chaiging,Y's Men!

To become the Japan West Region we want to see.

標 語 「地域社会のリーダーとなり躍動しましょう」

Be a community leader and make a difference!

六甲部長(DG) 杉本隆人

主 題 和を以て貴しとなす

To be true to oneself through harmony.

宝塚クラブ会長 福田宏子

主 題 みつけよう。つながろう。よくなってゆこう。

Discover.Connect.Grow.

西日本区 7 月強調テーマ:Kick off. PR

各クラブの活動を正確に記録し、分かりやすく発信することで会員相互の理解を深めるとともに、地域や社会への信頼を高めます。広報・情報を通じてワイズの価値を共有し、組織の活性化につなげて行きましょう。

荒川恭二 広報情報委員長(名古屋グランパス)

2026～2027 役 員	会長:福田宏子 副会長:金岡幸宏 書記:若林成幸 会計:小林康男 監査:長尾 亘・風早寿郎 担当主事:橋本 唯 直前会長:多胡葉子
事業委員長	Yサ:武田寿子 CS 環境:金岡幸宏 EMC:長尾亘 国際・交流:岡野泰和・石田由美子 広報・プリテン:若林成幸
特別事業 委員長	TIFA/NGO:小林康男 ファンド:金岡幸宏・多胡葉子 市民クリスマス:若林成幸
周年事業企画	岡野泰和・安行英文・金岡幸宏
六甲部主査	EMC 多胡葉子 国際役員 岡野泰和

2026年 7 月例会

日 時: 2026 年 7 月 8 日(水)18時30分

場 所: 宝塚市西公民館ホール

会 費: 1,500 円

ドライバー: 金岡幸宏・若林成幸

開会点鐘 直前会長 多胡葉子

ワイズソング 「いざ立て」

聖書・祈禱 武田寿子

ゲスト・ビジター紹介 直前会長 多胡葉子

入会式 安田怜子さん

司式 六甲部部長 杉本隆人ワイズ(神戸学園都市)

祝辞 EMC 事業主任 大橋芳夫ワイズ(京都パレス)

役員交代式 進行 金岡幸宏

六甲部部長公式訪問挨拶 杉本隆人ワイズ

表彰式 神戸 YMCA 総主事 小澤昌甲氏

名誉会員賞 石田由美子ワイズ

会 食

総 会 議長 福田宏子

1)会長・各事業委員長の活動方針 2)決算・予算

YMCA報告 担当主事 橋本 唯

誕生日のお祝い 会長 福田宏子

ニコニコ・ファンド

閉会点鐘 会長 福田宏子

7 月誕生日	7 岡野泰和
6 月例会実績	会員在籍数(A) 17 名 例会出席総数(B) 19 名 (内訳) 会員(C) 13 名(内Zoom(名) メネット・アソシエト 3 名(内Zoom 1 名) ゲスト・ビジター 3 名(内Zoom 0 名) メイクアップ(内数 D) 0 名 会員出席率 C+D/A 76.5% 例会充足率 B/A 111.8%
6 月実績 にこにこ ファンド	ニコニコ 2,000 円 (累計 53,000 円) ファンド タカラムネ 0 円 (累計 39,500 円) 真菰茶 0 円 (累計 22,735 円) その他 0 円 (累計 11,800 円) 合 計 0 円 (累計 74,035 円)

今月の聖句

主よ、わたしが助けを求めて叫んでいるのにいつまで、あなたは聞いてくださらないのか。わたしが、あなたに「不法」と訴えているのにあなたは助けてくださらない。
(新共同訳)旧約聖書・ハバクク書 1 章 1 節)

随想

預言者とは、神の言葉を代弁する神の側に立った者として理解されがちです。しかし、そうでしょうか。確かに、神から届いた言葉を語るという意味では、神の代弁者としてのスポークスパーソンとして立っているように見えます。

しかし、どちらかと言うと、私の目から見たら、人の側に立って、人間のスポークスパーソンとして立つ者のように思います。神から届いた言葉にこだわり、神の言葉に悩む者です。

エレミヤもそうでした。他の預言者も皆そうでした。乱暴に言えば、神の側に立つことを辞めさせられた人のことであり、神の言葉につまずいた人でした。だから、預言者は、神の真正面に立って直訴せざるを得なくなった人物でした。

エレミヤと同時代に、エルサレム神殿で預言をしていたハバククもその1人でした。

国が滅亡へと傾く中で、ハバククは律法による国の一致を求めて国内を見渡した時、愕然としたのです。「暴虐と不法がわたしの前にあり、争いが起こり、いさかいが持ち上がっている。律法は無効となり、正義はいつまでも示されない。神に逆らう者が正しい人を取り囲む。たとえ、正義が示されても曲げられてしまう」(ハバクク書 1 章 3-4 節)。

「主よ、いつまで」。

そんなハバククの口から漏れたのは、「悲鳴」でした。こんなにまで人間は悪に染まっているのかを愕然と気づき、神に助けを求めました。本当は、すでに神からの言葉をいただき、救われているのです。しかし、まるで救いがなかったかのような生活を続けてしている人間でした。ハバククは「どうしたらいいのでしょうか」と嘆くのです。

今、世界中で起きている、まるで「戦前」を覚悟せざるを得ないような状態に、私の耳にはハバククの嘆きの声が聞こえてきています。それだけ、本当はすでに届いている神の言葉の聞き方が私たち一人ひとりに問われています。

宝塚教会 牧師 浦上結慈

新入会のご挨拶

今回宝塚ワイズマンズクラブに入会させて頂きました安田怜子と申します

学生時代から 神戸 YMCA でキャンプリーダーとして 4 年間素晴らしい体験をさせていただき その時に培われたボランティア精神はその後わたくしの生活面での一つの指針となったと確信しております

思えば育児の終わった後 ボランティア活動に参加した時 知人から 偽善的行為 と蔑まれる事があり 思いもよらない言葉に驚きました私の中では自然に行える事だったからです 日本ではまだまだボランティア活動が育っていない頃から YMCA で今井先生はじめ主事の方々からキリスト教精神の教えを受け 自然に身についたのだと思います 京都に移ってから 同志社大学内にて様々な活動をしていましたが コロナによって停止となりそのタイミングで 福田宏子さんからお誘いを受け入会を決意いたしました よろしく願い申し上げます

安田 怜子

6月第一例会報告

6月10日(水)18時30分、西公民館ホールに会員12名、メネット・アソシエイト3名、ゲスト3名 計18名を集めて6月第一例会が開催された。多胡会長の開会点鐘・ワイズソング斉唱・聖書・祈祷朗読の後、6月は通例、一年間の活動の振り返りと次期への課題協議のプログラムだが、今回は特別に「公立中学校における部活動の廃止と地域移行の現状」について現場で悩み苦しんでおられる南ひばりが丘中学校の矢藤 学先生から熱意溢れる報告を聞き、ユース支援につながる地域問題を考えるひと時を与えられた。



【先生のお話】

2026年を区切りとして、市立中学校のクラブ活動を中止する。現在の中3生は引退、それと同時に、中2・1年生も引退となる。今年の夏・秋で市内の半数以上は廃部。一部が地域展開へ移行することに。現在の人口動態は、年間死亡者数160万人、出生数67万人で毎年100万人の人口減。日本が今一番大切な政策は、子供の教育であり、次代の為の人材を社会に送り出すこと。

一方、不登校の生徒は最大人数となっている、人とのコミュニケーションがとれない生徒が多い。失敗したくない、ミスしたり負けたりは、ゆるされない、人生終わりと感じてしまう。生徒育成の最大の強敵がスマートフォンで、大成功の動画のみが流れてくる。成功しなければダメな人間と思ってしまう。失敗をしたくないから、家から出て来ない生徒が多い。スマホの大成功のショート動画を毎日2/3時間も見続ける事でドーパミンが脳から出てドーパミン中毒になる。社会の本当のふつうが見えなくなっている。失敗したり、努力したり、好きな人嫌いな人とのコミュニケーションを取ること。社会はチームプレーなのだと知ること。そうした普通を体感させて、社会に子供達を出していくことが大事。

中学校の部活動は、その一部を担っていた。今は、共働き夫婦・片親・核家族が全て専業主婦は希少、部活がなければ、長時間のスマホ生活となる。保護者の為でもあった。夏休みはどうなっていくのか？習いごと、塾も、大変お金が掛かる。金銭的格差で、子供の人生経験体験に差が出る。教師の働き方改革を捉えてみれば、部活動顧問も選択肢は無く、残業時間は170時間を超える。本当は、部活も教育の一環として給与に反映していれば、子供の育成費用として行政に理解と予算があれば部活の閉鎖にはならなかった。

地域移行では卒業OBや地域から指導者を育成し、その代わり発表会やコンサートの機会を設ける。先生が指導するのではなく、シニアが中・小学生を指導し、指導を受けた生徒がOBとして指導者になっていく、持続的な活動で50年続く体制づくりを目指している。

ワイズの皆様へのお願いは、是非発表会に来てほしい、宝塚市の楽団、ダンスチーム、コーラス、美術等全ての発表の機会として「ZUKA ッチャ文化祭」を来年7月に開催したいので是非応援願いたい。

質疑応答によりさらに理解を深め、ワイズとしてどのような関わり方・支援の仕方ができるのかは宿題とした。その後、予め準備された2025年度活動実績資料をもとに「今期の振り返り」を行い、4名の誕生日を祝福し、YMCA報告を聞いて閉会となった。

金岡・若林

【ZUKA ッチャ】 宝塚市は、宝塚(ZUKA)の子どもたちに、さまざまな活動へ「チャレンジ(チャ)」してほしいという願いを込めて「ZUKA ッチャ」という名称のクラブ活動への移行を進めている。生徒は自分の通う中学校にとらわれず、市内全域の認定クラブから自分の「好き」や「得意」に合わせて活動を選べる。

6 月第二例会議事要旨

日 時 5月 21 日(水)午後6時30分～8時30分

場 所 宝塚市立西公民館会議室

出 席 多胡会長、石田、岡野、金岡、福田、長尾、若林、
議事要旨

1) 7月例会に関して

・日時:7月8日(水)18時30分～20時30分

・場所:西公民館ホール

・内容 ・入会式 安田怜子さん 式辞:六甲部長 杉本隆人ワイズ 祝辞:EMC 主任 大橋芳夫ワイズ

・六甲部長公式訪問 挨拶 杉本隆人ワイズ

・会長による主題・方針発表

・各事業委員長による方針。計画発表

Yサ・ユース…武田、CS・環境…金岡、国際・交流…岡野、EMC…長尾、ブリテン・広報…若林
ファンド…金岡、TIFA…小林、市民クリスマス…若林

六甲部 EMC 主査…多胡

・会計による実績・予算報告

メネット事業は CS 事業に統合されたため
「メネット連絡委員」は廃止と決定。

2) 福田次期会長から「主題・方針・計画」が披露され、Q&Aを行った。

「クラブは**会員の高齢化**という大きな課題に直面している。この現況を打破し、クラブの持続可能性を維持するためには、次世代(ユース)との接点を広げ、組織に新しい風を吹き込むことが不可欠。今年度のテーマを YMCA のスローガンを基にした「**みつけよう。つながろう。よくなっていこう。**」を掲げ、4つの方策の展開を提案する」。

① 近隣大学の学生 YMCA サークル(学 Y)との連携

② YMCA 活動を経験したユース世代の OB・OG の発掘

③ 公立中学校の部活動地域移行への支援

④ ワイズの目を世界に向ける活動の推進

3) 今期のクラブ助成金支出方法の確認(会計)

クラブ規則に基づき、遠隔地で行われた部会・記念例会等の参加者に対し、交通費・登録費の助成として延べ 22 人、総額 141,000 円の支出を決定した。

4) 六甲部第一回評議会

7月 18 日(土) 午後 2 時～ 神戸 YMCA チャペルにて

5) 7月 4 日開催のプラネタリウム上映会に関して(詳細略)

終了後の京都ウエルクラブ他との交流

6) 7月号ブリテン編集

例会報告…若林、聖書随想…浦上牧師、区大会報告…多胡・石田・長尾・金岡

直前会長の振返り…多胡、新会長の抱負…福田、新入会者挨拶…安田、

国際…岡野、YMCA 報告…橋本、誕生日一言…岡野

7) 6月 27 日(土) 東京町田コスモスクラブ 30 周年

出席 石田・青柳・真藤・多胡

以上 若林成幸

第29回 西日本区大会報告

西日本区定款に沿って年一回開催される代議委員会。ホテル日航奈良で年次代議委員会が10時～11時30分まで開催され、代議員の一人として参加。中井信一理事による年次報告から始まり、8号議案まで報告、審議され全て承認された。次いで、次期理事には滋賀蒲生野クラブの岡村編導ワイズ、次次期理事には大阪茨城クラブの掛谷太郎ワイズが承認された。予算案審議の際にのべられた意見として、高齢のメンバー、特に年金生活者の多いメンバー構成になってきているワイズにとって、国際への納入金に変化なく続いていることに一考する必要があるのではとの意見が出たが、次期の課題として申し送られた。時間通りに全て終わり、第29回西日本区大会の開催される100年会館へ移動した。 多胡 葉子



第29回西日本区大会が、阪和部主催の基、JR奈良駅前、なら「100年会館・第ホール」にて、会員557名の参加にて盛大に開催されました。

まずは、各クラブ会長の登壇によるバナーセレモニーで幕開け、その後、来賓挨拶・祝辞・理事挨拶と進み、メモリアルアワー～代議員会報告、その後「奈良傳賞」の発表、本年は『菅 正博ワイズ(熊本ひがしクラブ)』が受賞されました。

途中のミニ・コンサートでは、「TANGO AISA」(福岡県在住のバンドネオン奏者、川波幸恵を筆頭に、関西在住の金関環(ヴァイオリン)、安藤歌那(ビオラ)、宮川真由美(ピアノ)、むねたけまさひろ(コントラバス)というアンサンブルで、古典タンゴからピアソラまで、ラテンミュージックを堪能させてもらいました。

その後、西日本区各部長並びに事業主任より活動報告がなされ各種表彰式が執り行われました。宝塚クラブは、各種献金事業で表彰を受けました。

最後に引継ぎ式が行われ、次年度は、びわこ部主催に引き継ぎ、岡村編導(滋賀蒲生野クラブ)新理事を柱として、滋賀県の「びわ湖大津プリンスホテル」での開催を約束しお開きとなりました。 金岡 幸宏

6月13日(土)の大会の前日、中井信一理事主催の前夜祭が猿沢池前の「KOTOWA 奈良公園 Premium View」と言うパーティー会場で開催されました。その名の通り猿沢池に面した壁全面の窓からの興福寺と木々の緑、水面の光が絶景でした。

北は十勝から南は熊本までのワイズ仲間が100名近く集まりいつものハグと握手で始まりました。今回のハイライトはソウル・ゴスペルシンガーとピアノ Duo によるパワー炸裂の演奏でした。レパートリーはスタンダードジャズ、日本の曲、オリジナル曲など多種多数、関西弁トークと共に参加者全員はしっかり心を持って行かれた感です。

当然アンコールは数曲続きスタンディングオベーションで終わりみんな「最高だった」「久しぶりに堪能した」とロケに興奮状態で会場を後にしました。私も同感！去年の前夜祭を除けばNO.1だったと思います

!

石田 由美子



2026年6月13日(土)「なら100年会館」で第29回西日本区大会が行われました。

多胡会長、福田次期会長、石田ワイズ(前夜祭から)、金岡ワイズ、長尾が参加しました。午前中の代議員会も終わり、開会式バナーセレモニーの多胡会長、そして、理事引継式と進みホテル日航奈良で楽しい懇親会が行われました。一日開催で時間が無かったのですが、鹿児島クラブの松若鉄比古会長、そして京都ウェブクラブの松田博一会長が揃って宝塚クラブのテーブルに来られました。そして皆んなで写真を撮りました。丁度、多胡会長、福田次期会長もいまして、京都ウェブ DBC を考え、宝塚クラブとして初の京都ウェブクラブ、鹿児島クラブとのトライアングを前向きに考えましようと話になりました。宝塚クラブ 40 周年(2028 年 5 月)に向けて良い歩みになると思います。 長尾 亘

多胡葉子会長から福田宏子会長へ

1年間の会長職を終えて

みなさまのお支えのもと無事1年間の会長としての職務を終えることができ感謝です。宝塚ワイズメンズクラブは宝塚に拠点となるYMCAがないために地域でつながる活動を意識して続けてきました。その思いを引き継ぎ今回もできるだけ地域の方々と繋がりができる活動をと、毎月の例会のスピーカーは地域で活動をされている方々に来ていただき、良い学びの一年となりました。

そしていかにその方々の活動と繋がり、ワイズ活動の中で生かし、メンバーが増えるかが今後の課題になると思います。

2028年には40周年を迎えますが、その準備にはメンバーの中で比較的新しくクラブに加わってくださった方々が中心にすすめられます。

今後も引き続き共に地域活動を中心にクラブの持つ特性を生かし交流の輪が広がればと願います。 多胡 葉子

会 長 就 任 の 抱 負

この度、伝統あるワイズメンズクラブの会長に就任いたしました。身の引き締まる思いと同時に、クラブの未来を切り拓く重い責任を感じております。

現在、私たちのクラブは**会員の高齢化**という大きな課題に直面しています。この現況を打破し、クラブの持続可能性を維持するためには、次世代(ユース)との接点を広げ、組織に新しい風を吹き込むことが不可欠です。

そこで私は、今年度のテーマとして、YMCAのスローガンを基にした「**みつけよう。つながろう。よくなっていこう。**」を掲げます。この主題のもと、具体的な4つの方策を展開してまいります。

第1の方策は、**近隣大学の学生YMCAサークル(学Y)との連携**です。若い世代の柔軟な発想やエネルギーをクラブ活動入れ、共に奉仕活動を企画・運営することで、ユースにとっての魅力的な実践の場を提供します。

第2の方策は、**YMCA活動を経験したOB・OGの発掘**です。かつてリーダーやキャンプなどで活躍し、現在は社会人となっている方々とのつながりを再構築します。彼らの経験と知恵は、私たちの活動をさらに豊かにする原動力となるはずです。

第3の方策は、**公立中学校の部活動地域移行への支援**です。部活廃止に伴う受け皿として、地域の子供たちが安心して活動できる場や機会を提供したいと思います。これは、ワイズメンズクラブが地域社会の切実なニーズに応え、次世代育成に直接貢献する絶好の機会です。

そして第4の方策は、**ワイズの目を世界に向けた活動の推進**です。ワイズメンズクラブ・インターナショナル(YMI)の諸施策に関心を持ち、その国際的な活動に積極的に参加します。地域に根ざしつつ、世界ともつながる視野を育むことは、若い世代を惹きつけるクラブの大きな魅力となります。

なお、Yサービス・ユース事業、地域奉仕・環境事業、国際・交流事業、EMC事業は西日本区事業主任の方針を尊重しつつクラブの個性を生かしていただきたいと思います。また、ファンドは諸活動の源、交流ツールとして有効な働きをしています。宝塚国際交流協会(TIFA)との協働、市民クリスマス「みんなでつくる One Christmas」、自立の家支援など各事業委員会での活動が積極的に展開されることを願っています。

会員の皆様、一步を踏み出し、次世代と共に歩む持続可能なクラブの未来を一緒に創り上げましょう。

1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

福 田 宏 子

鯖尻佳子ワイズの生け花



東京町田コスモスクラブ設立 30 周年記念例会

2026年6月27日(土)、11:00からホテル町田ヴィラにおいて記念例会が開催されました。2006年6月、名古屋での西日本区大会で DBC 締結式後20年の記念の年でもあります。この間、宝塚クラブの周年記念例会や東西交流会、アジア太平洋地域大会などで権藤徳彦ワイズ、松香光夫ワイズ、又亡くなられた小山正直ワイズ、谷治英俊ワイズの先輩方と親しく交流を続けてきました。早くから楽しみにしていましたが直前になって想定外の台風、それも2つも同時にやって来るとは・・・。「お待ちしています、お気をつけてお越しください」の権藤ワイズのお誘いの声に励まされて宝塚花組4名、多胡会長、青柳、真藤、石田は雨の中到着した所、大変な歓迎を受けました。フライトの一部が欠航になったため参加が出来なかった山下真東日本区理事始め数名の欠席報告がありましたが30数名の方々と和やかな時間を共有できました。

東日本区のクラブは YMCA と密接な繋がりがありユース支援の面でも素晴らしい活動をされています。東京町田コスモスも同様に、東京 YMCA 高等学院学生のトーンチャイム演奏があり、心温まる歓迎を感じるひと時でした。

驚きの出会いもありました。東京多摩スマイルクラブの峯 毅ワイズは何と宝塚第一小学校の後輩、ご実家は逆瀬川、との事！ぜひ、今後 ZOOM 参加やご帰郷の折のビジター参加を！とアピールしました。 台風の合間を縫っての町田往復でしたが、やはり対面の交流に勝るものはありません。東日本区のワイズ達との心に残る時間はより距離を縮めたような気がします。

交流事業委員 石田由美子



【夏の国際プログラムのご案内】

■ ワークショップ「難民 2026」

難民問題について体験型ワークショップを通して学ぶ全 3 回の講座です。

日時: 7 月 8 日(水)、7 月 21 日(火)、7 月 29 日(水) 18:30～20:00

会場: 神戸市青少年会館

■ 第 23 回 多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー

日時: 8 月 3 日(月)～4 日(火)

会場: JICA 関西

内容: 多文化共生、やさしい日本語、外国につながる子どもへの教育、難民支援など

担当主事 橋本 唯

YMI Topics

新国際会長を紹介します

新年度より国際会長に就任される

ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクさん(ノルウェー)をご紹介します。
ヨハンさんはワイズの国際会長としては異色の経歴をお持ちの方です。
彼の本業は牧師先生なのですが、2024年度まで YMCA 世界同盟の
総主事としてお勤めでした。YMCA との協働を目指すワイズ運動の
国際会長としては彼ほど適任の方はおられないかもしれません。

彼は総主事時代に世界の YMCA において、ユースエンパワーメントを大きく
推進されました。若者を支えてリーダーシップを育成することによって世界の
あらゆる場所で変革を起こす多くのチェンジエージェントを育ててこられました。
彼は若者にも大人たちにもつながることができるパーソナリティをお持ちです。
彼は高い理想とそれを実践する熱い心を持って、常に最善を目指してこられました。

新しいチャレンジとして、国際会長の任に就かれる私たちのリーダーに
期待は深まるばかりです。

国際会長としてのテーマは「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」です。

「ブルーミュージック」については次月号で詳しく触れたいと思います。

新年度のスタートにあたりワクワクが止まりません。乞うご期待！

岡野泰和



お誕生日 一言メッセージ

七夕に還暦の誕生日を迎えました。あまり実感はありませんが、人生1周目の節目、2周目はさらにいろいろなことに挑戦していきたいと思います。

岡野泰和

